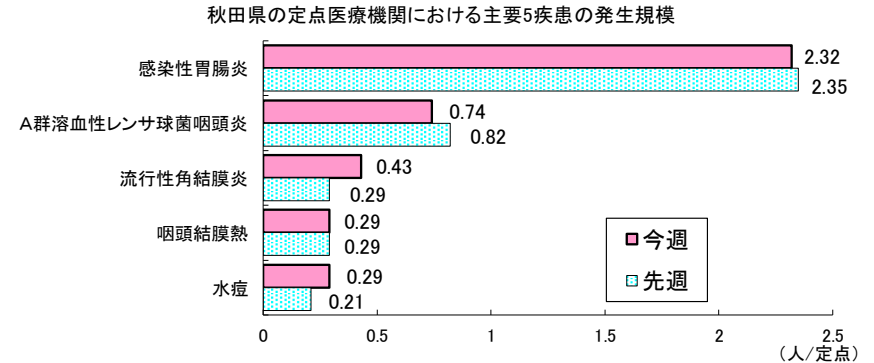




【第51週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体でほぼ同規模です。保健所別では、能代、秋田中央、横手、湯沢で増加、秋田市、大館、北秋田、大仙で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で10%減少しています。保健所別では、大仙で増加、横手、湯沢で同規模、秋田市、大館、秋田中央、由利本荘で減少しています。
3. 流行性角結膜炎は、県全体で1.5倍に増加しています。保健所別では、横手で増加、秋田市で同規模となっています。



発生報告

次回(第52週)の週報は、2022年1月11日(火)に公表します。

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減	第50週	第51週	増減			
RSウイルス感染症	0.21	0.09	↘							3.50	1.50	↘																		
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.29	0.29		0.29	0.29		0.50	0.75	↗										0.25	↗	0.75	0.75					1.00	0.33	↘	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.82	0.74	↘	0.57	0.29	↘	2.75	2.50	↘							1.25	1.00	↘	0.25	↘	1.00	1.50	↗	0.33	0.33		0.67	0.67		
感染性胃腸炎	2.35	2.32	↘	4.57	4.43	↘	2.00	1.75	↘	6.50	2.00	↘	2.33	3.00	↗	1.00	1.25	↗			2.75	2.25	↘	0.67	2.67	↗	1.00	2.00	↗	
水痘	0.21	0.29	↗		0.57	↗	1.25	0.75	↘					0.33	↗	0.50	0.25	↘				0.25	↗							
手足口病	0.03	0.12	↗		0.14	↗		0.25	↗										0.25	↗	0.25	0.25								
伝染性紅斑																														
突発性発しん	0.15	0.15		0.43	0.29	↘							0.33	↗					0.25	0.25					0.33	↗	0.33		↘	
ヘルパンギーナ																														
流行性耳下腺炎		0.06	↗																0.50	↗										
川崎病	0.09		↘																		0.25		↘	0.67		↘				
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎	0.29	0.43	↗	0.67	0.67					*	*		*	*		*	*								1.00	↗	*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎																*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が横手保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症のカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が秋田市保健所管内から1人、梅毒が横手保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-50週		51週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
	急性灰白髄炎			
	結核	15200	66	1
	ジフテリア			
二類	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
	コレラ			
三類	細菌性赤痢	7		
	腸管出血性大腸菌感染症	3109	22	
	腸チフス	3		
	パラチフス			
四類	E型肝炎	418		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	67		
	エキノкокクス症	23		
	黄熱			
	オウム病	8		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	8		
	キャサナル森林病			
	Q熱	1		
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	109		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			

類型	疾患名	1週-50週		51週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	480	3	
	デング熱	7		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	484		
	日本脳炎	3		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	5		
	マラリア	28		
	野兔病			
	ライム病	21		
	リッサウイルス感染症			
	リフトバレー熱			
	類鼻疽			
	レジオネラ症	2056	22	
レプトスピラ症	33			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	515	2	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	187	3	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1946	29	1
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	21		
	急性脳炎	322		
	クリプトスポリジウム症	5		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	172	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	614	4	
	後天性免疫不全症候群	999	2	
	ジアルジア症	36		
	優襲性インフルエンザ菌感染症	183	1	
	優襲性髄膜炎菌感染症	2		
	優襲性肺炎球菌感染症	1327	9	
	水痘(入院例に限る)	282	6	
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	7528	38	1
	播種性クリプトコックス症	152		
	破傷風	90		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	120		
	百日咳	696	7	
	風しん	12		
	麻しん	6		
薬剤耐性アシネトバクター感染症	5			
* 新型コロナウイルス感染症		1785		

* 新型インフルエンザ等感染症

トピック

<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について>

県内におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点医療機関あたりの報告数は、第51週現在0.74(人)と昨年から引き続き低い値で推移しています。しかし、例年、冬季は患者数が増加する傾向にありますので(図)、今後の流行状況に注意し、感染予防に努めましょう。

■感染経路・症状

主な感染経路は咳・くしゃみなどによる飛沫感染と、手指を介して鼻や口から感染する接触感染です。発病初期に感染力が強いことから家庭内感染も多く、学校では集団感染を引き起こす場合もあります。

感染すると2～5日の潜伏期間を経て発症します。主な症状は、発熱、のどの痛み、全身倦怠感などで、嘔吐を伴うこともあります。

■予防・治療

手洗い、マスクの着用など一般的な予防対策を励行しましょう。

治療には抗菌薬が使用され、2～3日で症状は改善します。しかし、自己判断で服薬を中止すると、リウマチ熱や急性糸球体腎炎などの合併症を併発するおそれがありますので、処方された薬は医師の指示に従って飲みきるようしましょう。

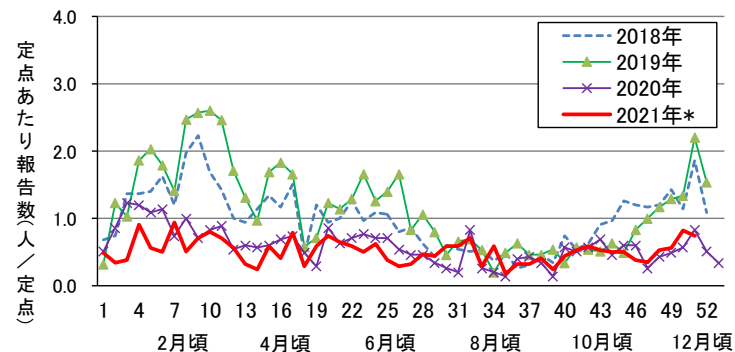


図 秋田県内におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の患者発生動向

*2021年は第51週まで

感染症の集団発生報告

かぜ様症状の集団発生報告が3件ありました。

所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状
			園児	職員	計		
大館市	たしろ保育園	12/20	103名のうち 13名	38名のうち 0名	13名	12/18～12/20	発熱、咳、鼻汁、咽頭痛
男鹿市	船川保育園	12/20	91名のうち 18名	33名のうち 1名	19名	12/15～12/20	発熱、咳、鼻汁
仙北市	にこにこ子ども園	12/22	75名のうち 42名	30名のうち 0名	42名	12/13～12/22	発熱、咳、鼻汁



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所（発生規模）	保健所（発生規模）
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報：流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある（終息していない）ことを示します。
- 2) 警報：大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		